

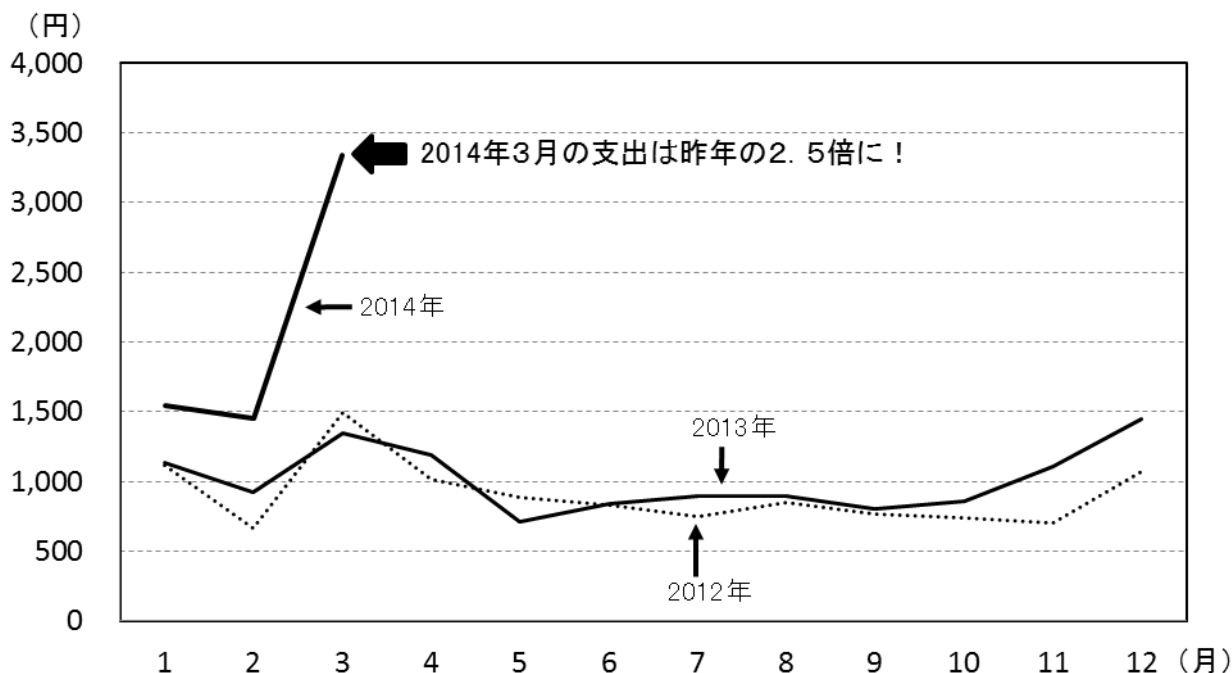
調査世帯の皆様には日々お忙しい中、長期間に渡り家計消費状況調査にご回答いただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

家計消費状況調査の結果からは、様々なことが分かります。この調査結果は、元をたどれば皆様からのご回答から作られています。そこで、その結果を、幾つかご紹介します。

調査結果から分かること ～その1 パソコン編～

3月分までの調査結果から、最近のパソコンへの支出の動きを見てみましょう。パソコンへの支出は、例年は1年のうち3月と12月が高くなります。特に、2014年3月は3,338円と、大きく増加しました。この背景には、2014年4月にサポートが終了したWindows XP搭載パソコンの最新版への買替え需要や、2014年4月の消費税率引上げ前の駆け込みの影響などがあると考えられます。

図1 1世帯当たり1か月間のパソコンの支出金額（二人以上の世帯）



統計局からのお知らせ

統計局では、9月から11月にかけて約5万6千世帯を対象に「平成26年全国消費実態調査」を、また7月に全国全ての事業所・企業を対象に「平成26年経済センサス-基礎調査 商業統計調査」を実施します。ご家族の方やお勤め先が調査対象になりましたら、ご協力をお願いいたします。

個人情報の保護は万全です

家計消費状況調査は「統計法」という法律に基づいて行われる「一般統計調査」です。この法律には、調査に携わる者の守秘義務、調査票情報の適正な管理などが規定されています。これを踏まえ、皆様に提出いただく調査票は、統計の作成後、溶解処分するなど、秘密の保護には万全を期しています。

家計消費状況調査については、総務省統計局のホームページでも紹介しています。

URL <http://www.stat.go.jp/data/joukyou/index.htm>

家計消費状況調査

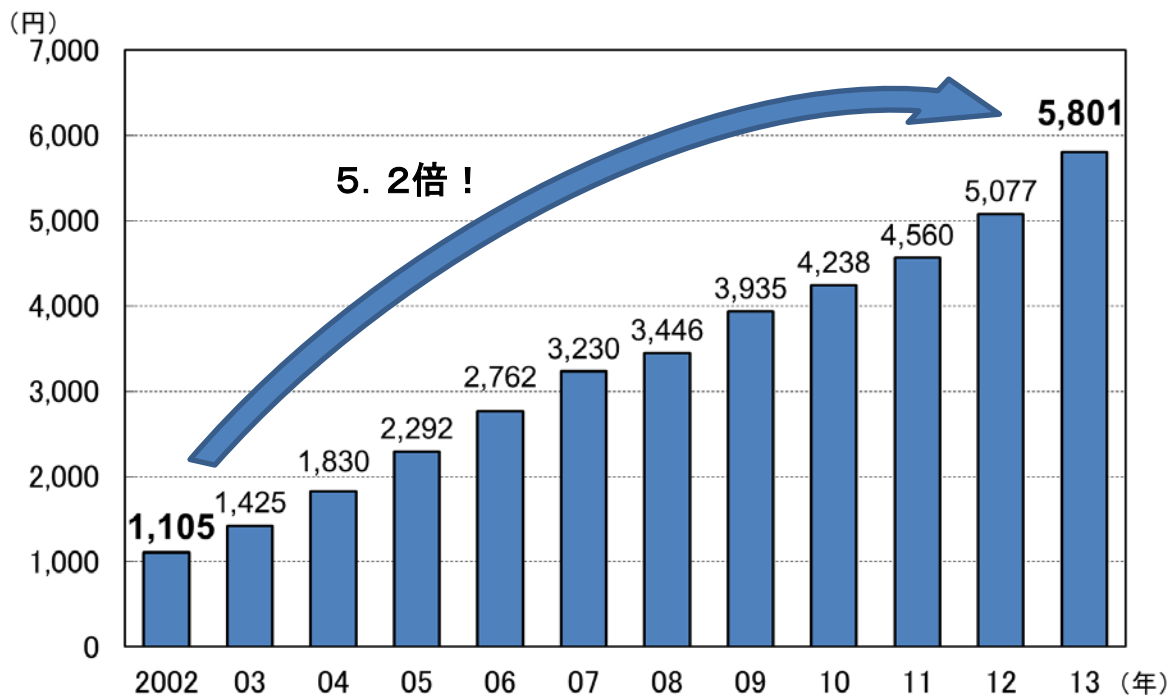
検索

調査結果から分かること ～その2 インターネット編～

家計消費状況調査の結果からは、世帯でインターネットを利用して商品・サービスが合計でいくらか購入されているのか、といったことなども分かります。

いわゆる「ネットショッピング」（インターネットを利用しての商品・サービスの購入）の支出額は、家計消費状況調査を開始した2002年から直近の2013年までの11年間で、5倍以上になっています。

図2 1世帯当たり1か月間のインターネットを利用して購入した商品・サービスの支出総額
(二人以上の世帯 2002年～2013年)



※ 上記は、インターネットを利用しない世帯も含めた、二人以上の世帯全体の平均支出総額です。

Q&A

Q 最初に調査票を2枚渡されたので、調査期間が2か月だけかと思いましたが。回答を1年も続けるのは、大変です。

A 正確でかつ安定した結果を得るために、調査世帯の皆様には長期間の記入をお願いしています。お忙しい中、大変恐縮ですがご回答をお願いいたします。

調査票に記入する際に、次の点についてもう一度確認をお願いいたします。

○ 「**支出総額**」には、食費や光熱費など、調査票Bの品目（64品目）以外に支出した金額も含まれます。**①64品目への支出の合計金額**に加え、**②公共料金などの毎月支払うような定期的な支出金額**と、**③食費などの日々の支出**、**④当月だけの支出**（64品目以外の品物の購入など）とを合わせた額を記入してください。

○ 「**贈与金**」には、いただいたお金ではなく、**他の世帯に対し贈ったお金の合計**を記入してください。香典や祝儀も贈与金となります。

「政府統計の総合窓口（e-Stat）」でも、統計データ等の各種統計情報をご覧いただけます。

URL <http://www.e-stat.go.jp/>

e-stat

検索